



かぶくりぬま
【大崎市蕪栗沼マガン観察会】

令和2年11月28日(土) 11:30-18:30

場所：大貫公民館、田尻総合支所、蕪栗沼

スタッフ：大崎市役所世界農業遺産推進課

NPO 法人蕪栗ぬまっこクラブ

南三陸ネイチャーセンター友の会

南三陸町自然環境活用センター



大貫公民館で野鳥のレクチャー！

今回の観察会は、大崎市の「おおさき生きものクラブ」のメンバー3名と一緒に活動しました。NPO 法人蕪栗ぬまっこクラブの戸島さんを講師に迎え、蕪栗沼とその周辺水田に飛来する野鳥のレクチャーをしてもらいました。スライドショーや本物のハクチョウの骨格標本を使い、ガン類とハクチョウが近い仲間であることや、マガンのクチバシに板歯(ばんし)と呼ばれる歯があることなどを教えてもらいました。



大崎市の歴史に触れてみよう！

スケジュールでは加護坊山に登る予定でしたが、途中で雨が降ってきてしまったため、予定を変更して田尻総合支所を訪問しました。今年の2月に新しく建てられた支所には、大崎市で初めて

国の重要文化財に指定された「木造千手観音坐像」の他、日本最大の遮光器土偶のレプリカ、中沢貝塚の断面(本物)が展示されていました。南三陸町とはまた違った歴史を持つ大崎市の魅力に1つ触れることができました。※展示室は撮影禁止だったので、写真は撮れませんでした。



蕪栗沼でマガンを観察しよう！

蕪栗沼の近くまで向かい、双眼鏡や望遠鏡を使って、マガンを始めとした野鳥を観察しました。最初は少なかったマガンやシジュウカラガンも、日が暮れるにつれて、次第に大きな群れとなって蕪栗沼に向かってくる光景は実に迫力満点でした。途中、何かを察知したのか蕪栗沼に着水したガン達が一斉に飛び立ち、雷鳴のような羽音を立てて、見ていた人達を驚かせました。



今回見つけた野鳥リスト	
マガン	ヘラサギ☆
シジュウカラガン	アオサギ
オオハクチョウ	ダイサギ
チュウビ	コチョウゲンボウ
ハシビロガモ	オオバン
カルガモ	ハシボソガラス
ヒシクイ	☆☆マーク付きはレア！



◆見つけた野鳥リストで絶滅危惧種になっているのは――

- ・マガン（国の天然記念物、準絶滅危惧）
- ・ヒシクイ（国の天然記念物、絶滅危惧Ⅱ類）
- ・チュウビ（絶滅危惧ⅠB類）
- ・シジュウカラガン（国内希少野生動植物種、絶滅危惧ⅠA類）

今回の観察会だけで、絶滅が危惧されている野鳥を4種見つけることができました。

◇絶滅の危険度 ※右に行くほど絶滅の危険が高い

準絶滅危惧 < 絶滅危惧Ⅱ類 < 絶滅危惧ⅠB類 < 絶滅危惧ⅠA類
(危急) (絶滅危機) (絶滅寸前)

【調査隊の活動が、こどもエコクラブ全国事務局ホームページに掲載されます！】

南三陸少年少女自然調査隊の活動報告は、こどもエコクラブのホームページに掲載されます。みなさんもぜひご覧ください。

<http://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/list.php>

【今後の予定】

12月20日（日）：環境DNA調査結果発表&結果共有イベント参加（オンライン）

9月にみんなでとった海水の分析結果を比べたり、東京や福岡の子ども達といっしょに環境について学んだりします。この回は、親子での参加を基本としますので、保護者の方もぜひご参加ください。